



2020年5月14日

各位

会社名 ユニチカ株式会社
代表者名 代表取締役社長 上埜 修司
(コード番号 3103 東証第一部)
問合せ先 執行役員経営企画部長 杉澤 滋
(TEL 06-6281-5695)

長期ビジョン及び新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2030年近傍を見据え、長期ビジョン『G-STEP30 (ジーステップ・サーティ)』及び3か年の新中期経営計画『G-STEP30 1st (ジーステップ・サーティ ～ファースト)』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 長期ビジョンについて

長期ビジョン『G-STEP30』は、前中期経営計画で掲げた「3つのG Growth:事業成長戦略の推進、Global:グローバル事業展開の強化・推進、Governance:グループガバナンスの強化」を継続的なテーマとして、長期展望にてステップを踏みながら実現していくものとします。

(経営理念)

「暮らしと技術を結ぶことによって社会に貢献する」

(目指す姿)

「お客様から選ばれ続ける企業」を目指します。

- ・モノ作りを通じ社会に貢献し、世の中から信頼される企業
- ・独自技術により新たな価値を創出し、持続的に成長を続ける企業
- ・企業価値を高め、広くステークホルダーから評価される企業

2. 新中期経営計画の骨子

新中期経営計画『G-STEP30 1st』は2020年4月から2023年3月までの3か年の計画とし、長期ビジョン『G-STEP30』のスタートとして位置づけしました。新中期経営計画では経営基盤の強化に向けて「3つのG Growth、Global、Governance」をさらに進めるとともに持続可能な社会の実現に向けた活動も継続して参ります。

(新中期経営計画の骨子)

- (1) 強固な事業ポートフォリオの構築
 - ・基盤強化(高付価値品の展開加速)
 - ・サステナビリティの推進(エコ、新事業推進)
- (2) グローバル事業展開の推進
 - ・グローバル生産体制の構築
 - ・アライアンス等による販売力強化
 - ・グローバル人材の育成・強化

- (3) 社内風土・意識改革
- ・品質管理体制の確立
 - ・リスクマネジメントの再構築

(新中期経営計画におけるセグメント別の主要施策)

(1) 高分子セグメント(変更)

① フィルム

- ・包装用途向け高付加価値品の拡販（環境配慮型素材を含む）
- ・工業用途向け高付加価値品の拡販（精密機器用途など）
- ・海外向けバリアフィルムの拡販

② 樹脂

- ・用途拡大、海外展開強化による独自素材（Uポリマー、環境配慮型素材など）の拡販

(2) 機能資材セグメント(新設)

① 活性炭繊維

- ・各種浄化用フィルターの高性能化、新商品開発、国内外での拡販

② ガラス繊維

- ・I Cクロス市場のニーズの高度化に対応した高付加価値品の拡販

③ ガラスビーズ

- ・高付加価値品の開発、拡販

④ 不織布

- ・新規用途展開、グローバル販売網の強化による欧米、アジアへの拡販

⑤ 産業繊維

- ・ポリマー、紡糸技術の組み合わせによる高付加価値品の拡販

(3) 繊維セグメント（変更）

衣料繊維

- ・エコ、環境配慮型素材の商品開発・拡販

3. 長期ビジョン、新中期経営計画における数値目標

(金額単位：億円)

	2019年度 実績	2022年度 (G-STEP30 1st) 計画	2030年度 (G-STEP30) ビジョン
売上高	1,195	1,470	2,000
営業利益 (営業利益率)	55 (4.6%)	110 (7.5%)	200 (10.0%)
経常利益	32	98	—
親会社株主に帰属する当期純利益	▲22	71	—
海外売上高比率	20%	28%	35%
自己資本比率	18%	23%	30%
純資産	389	530	—
有利子負債	996	933	—

注：2022年度(G-STEP30 1st)には新型コロナウイルス感染症が与える2020年度以降の影響を含んでおりません。

【経営資源投入計画】（連結ベース） （金額単位：億円）

	2017-19 年度実績 (累計)	2020-22 年度計画 (累計)	増減
設備投資	208	234	前中計比+ 13%
減価償却費	152	182	前中計比+20%
研究開発費	104	111	前中計比+ 7%

以上

<計画に関する注意事項>

本資料における計画の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後様々な要因により予想および計画と異なる可能性があります。